
新型コロナワクチン BNT162b2 接種後の中和抗体の推移

医療法人衆和会 長崎腎病院

○前田快也 中嶋幸海 内野拓寿 手島和代 中村麻美 船越 哲

【目的】

BNT162b2 接種した健常者、透析患者の中和抗体を経時的に測定し、抗体の推移と抗体産生に与える因子の解析を行った。

【対象・方法】

2 回接種した健常人 49 名、透析患者 49 名、また 3 回接種を施行した高齢透析患者 6 名。測定は 1 回目接種後 3 週、2 回目接種後 2 週・3 週・10 週の 4 点、加えて 3 回接種した高齢透析患者に関しては、3 回目接種前後を測定した。

【結果】

抗体価の最高値は 2 回接種後の 2 週目で、健常人 1610 U/ml、透析患者 539 U/ml であった。減衰率は 2 回目接種後 10 週で、両者とも 50% 程度の減衰を認めた。また、2 回目接種後も抗体価が著しく低かった高齢透析患者 6 名(平均 10.8U/ml)において、3 回目接種後に 4350U/ml と著しい上昇を認めた。

【考案】

今回、透析患者においても 2 回のワクチン接種により中和抗体価は十分に上昇したことより、BNT162b2 接種の有用性が示唆された。加えて、抗体価が低い高齢透析患者であっても 3 回目の接種により抗体価が著しく上昇したことより、ブースター接種は期待が持たれる。